

支倉常長フェロー報告書

提出日 2009年 10月 26日



申請者	氏名	荒井 真衣子
	所属・職	医学系研究科 産科婦人科 ・ 大学院生
出張期間	2009年10月9日 ～ 10月16日	
渡航先	セルビア・ベオグラード	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・()	
発表演題名あるいは共同研究課題名	2-cycle model of regular menstrual cycles in immunodeficient mice	

得られた成果など

今回、私は支倉常長フェローシップのご援助をいただき、2009年10月11日から14日のセルビア・ベオグラードで行われた“16th International of the European Society of Gynaecological Oncology”にポスター発表するために参加いたしました。学会では現在自身が行っている研究でこれまで得られた結果を発表するよい機会でした。また、自分の研究に対して貴重な意見を頂けたのは、本学会に参加した大きな成果でした。さらに、本学会では婦人科学分野の基礎研究および臨床研究が数多く発表されており、知識を広げることができたと思っております。また、本学会に参加することで、「子宮頸癌を引き起こすヒトパピローマウイルスの発見」したことに対して2008年のノーベル医学賞を受賞された Harald zur Hausen 博士の講演を拝聴し、世界レベルの研究とはこういうものかと実感することができました。

セルビア共和国の首都ベオグラードはドナウ河とサバ川が合流する地点にあり、昔から戦略上の要衝として、この土地をめぐる何度も戦火が交わされてきました。21世紀に入っても1999年にNATOによる空爆を受けたばかりです。しかし、実際訪れると戦火があったとは思えないほど穏やかな街であり、ホスピタリティにあふれた場所でした。おそらく学会参加がなければ、今後も訪れることのなかった場所でありましょう。このような貴重な機会を与えてくださった支倉フェローシップに心より御礼申し上げます。

- ※ 帰国後10日以内に報告書を提出してください。HPに掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。

